

耳痛

患者様情報

来院されるまでの症状

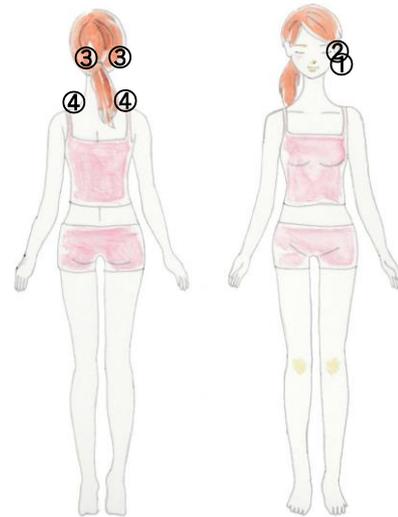
- ・6～7年前より、左耳に違和感を感じ始め、それが徐々に痛みに変わってきました。
- ・ストレスや疲れがたまると、耳の痛みが激しくなり、耳から膿が流れ出てくるようになったとのことでした。
- ・ここ半年、こういった症状が頻発するということで、来院なさいました。

患者様	50代 女性
初診	2015年 6月
既往症	鉄欠乏性貧血 肝機能障害
他の症状	耳鳴り 聞こえづらい 首肩こり 入眠障害 坐骨神経痛

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・背中左側に明らかな筋緊張がみられました。左の背中が張ってくると、呼吸が浅くなり寝つきが悪くなったり途中で何度も起きたりするということでしたので、当該箇所の緊張を緩め、血流をよくするように施術しました。
- ・左の首の付け根に硬いこりがあり、左耳下腺には圧痛もありました。
- ・耳の疾患に有効な「翳風」と「耳門」というツボの左側にだけ施灸しました。
- ・左首肩から背中にかけての筋緊張は、刺鍼で緩める



①翳風（エイフウ） ②耳門（ジモン） ③完骨（カンコツ）
④肩井（ケンセイ）

■ 初診後の経過

- ・耳下腺の圧痛は和らぎ、耳の痛みと膿も軽減したとのことでした。
- ・左上半身の硬いこりを緩め、血流をよくすると、膿の量も減り耳の痛みも和らぐとのことでした。
- ・長年、耳痛に悩まされ慢性化していましたので、当分は定期的な診療をお勧めし、現在も月に2～3回施術を続けていらっしやいます。

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・耳痛は慢性化しやすく、長期化するとやっかいな病症といえます。
- ・耳そのものに原因があるというよりは、上半身の凝りや、血流の滞りが遠因の症例がよくあります。
- ・身体全体のバランスを整え、上半身の緊張を解いて血流を回復させる。これが最善のシナリオですが長期にわたり慢性化したものには、時間をかけたリハビリが必要です。
- ・当該の患者様には、現在も月に2～3回施術を続けていただいておりますが、根気よく定期的な受診をお勧めします。